



- 第2回町議会定例会 2㊟・6㊟
- 町政ここが聞きたい 3㊟～5㊟
- 第2回町議会臨時会・議員活動報告 7㊟
- 総務社会常任委員会所管事務調査報告 8㊟
- 産業建設常任委員会所管事務調査報告 9㊟
- 議会報告会を開催 10㊟～14㊟
- 議会の動き 15㊟
- 今回の表紙・編集後記 16㊟



議会だより

令和6(2024)年8月15日【第175号・議会報告会特集号 合併号】

令和6年第2回 町議会定例会のあらまし

令和6年第2回定例会は、6月14日(金)開会され、行政報告、報告2件、議案8件、発委1件、発議1件、計12案件が審議されました。

町長行政報告

警察署の再編整備について

既に新聞報道等により周知の事実ですが、北海道警察は、機能強化に向けて小規模警察署の道内6地域7署を近隣の警察署に統合する方針で、その一つが興部警察署であることが分かりました。これによると興部署は紋別警察署に統合されることとなり、現在の庁舎は紋別署の分庁舎として存続・運用され、駐在所も現状のまま維持されることとなりますが、現在の職員は約半数となること、今まで出来ていた事務手続きの一部は本署(紋別署)になるなど、人口の減少はもとより、統合による住民生活への影響が懸念されるところです。

町といたしましては、今後、興部署の管轄区域である雄武町、西興部村をはじめ、再編整備の対象自治体と北海道警察との意見交換の場を持ち、再編による地域の課題について協議を進めるとともに、要請活動についても検討していきます。

教育関係

興部高等学校への新入学生徒については、入学試験受験者17名が全員合格し、併願者1名を除く16名が入学したところです。

今後も、興部高等学校間口確保対策協議会及び西紋地区教育文化振興会が連携し、継続した支援を行うとともに興部高等学校内で運営している公営塾など、各種施策を実施していきます。

また、昨年設置しました「興部高等学校の将来について考える連携協議会」については、本年度も引き続き開催し、教育関係者及び町民の方々からの意見やアンケート調査の結果などを踏まえ、今後高校の存続に向けた協議を進めていきます。

農作物の作況

本年の1番牧草は、融雪がやや遅れましたが、4月の気温が平年よりも高く推移したこと、5月上旬にまとまった降水があったことにより牧草の伸長は旺盛となり、5月下旬の寡照と降水および低温傾向であったものの生育は平

年並みとなりました。

また、飼料用トウモロコシについても、4月の好天により耕起は順調に進みましたが、5月上旬と下旬の降水により、播種作業の遅れが見られたことと5月下旬の低温傾向により、出芽の進捗は平年よりやや遅れている状況となっています。

生乳生産

今年度の計画乳量は6万4千736tで、5月末現在の生産乳量は、昨年同期で0・5%の増、計画乳量対比では0・9%下回る、3万1千961tとなっています。

漁業生産の状況

本年度の水揚げ計画数量は、前年計画比8%減の2万398tで、毛ガニ漁は前年対比21%増の29t、さけ定置網漁は前年と同等の1千800tです。

ホタテ漁は前年計画に対して11%減の1万7千tの計画であり、4月22日には沙留漁業協同組合・ほたて貝漁業生産部会と北オホーツク農業協同組合のご厚意により、今年もホタテとバ

ター・練乳の無料配布が行われたところです。

5月末現在の水揚げ量は、ホタテ漁では前年同期比4%増の1千627t、毛ガニ漁では21%増の29tです。

ホタテの稚貝放流については、4月15日からA海区に2億2千900万粒の放流を計画しており、地元沙留産については、4月23日から放流を始め、6月3日に終了しています。

また、5月27日よりホタテ漁の本操業が開始されたところです。

建設工事の発注状況

6月1日現在で「土木・水道工事92%」、「建築工事90%」となっています。

なお、残余の工事についても準備が整い次第、随時発注していきます。



沙留漁業協同組合・ほたて貝漁業生産部会・北オホーツク農業協同組合からホタテとバター・練乳の無料配布

町政ここが聞きたい!!

一般
質問

問

外国人との共生社会実現のための今後の施策は
鈴木精一議員

答

早急に相談対応できる体制、長く活躍できる体制づくりをしたい

鈴木 一寿町長



鈴木 議員

興部町で現在、外国の方が産業別に何人就業しているのか。また、産業を維持するためには、外国人労働者は欠くことのできない存在。安心して働き、生活してもらうことが最低限必要。町としての取組みは。

鈴木 町長

令和6年4月末現在、167名。農業で51名、水産業系で107名、その他乳

製品加工等で働いている。

住民課に諸手続きのための翻訳機を設置。警察署と連携し防犯・防災講習会の開催。ハザードマップへの英語表記。教育委員会では、異文化交流として、料理教室や和菓子作り。ゴミ分別の講習会やパンフレット作成。

鈴木 議員

令和4年、外国人に対する施策を各課に聞き取ったが、その後目新しいものは異文化交流以外ほぼ無い。

第2期総合戦略において、「町内事業者や近隣市

町村と連携を図りながら外国人労働者の雇用のための受入れ体制を検討し、さらなる町の活性化を目指す。」また、第6期興部町総合計画後期基本計画では、「町内に居住する外国人については、孤立させることなく社会の一員として受入れ、共生社会の実現のための施策を推進する。」企業任せにしないという決意表明で

あると思うが、実現に向けてどのような施策を考えているか。

鈴木 町長

言葉の問題を解決するため、人数も含め産業振興課に配置をした中で水産や農業に対応する形を考えたい。

また介護について、近隣町村でも海外の方が入っている。町が入り幹旋する管理会社などと協議をしながら、雇用推進についての検討の場を作っていきたい。

鈴木 議員

今回、育成就労制度の創設を柱とする入管難民法の改正があるが、1～2年就労後の転籍が可能となる。円安等で日本が選ばれない、また都市部に比べ地方は選ばれにくい。選ばれるための施策が必要と思う。

紋別市では、日本語講座の開設、運動会や料理教室の開催、感謝状や記念品贈呈、バス運賃の一部助成等、様々な生活支援が行われて

いる。ワンストップ窓口での相談対応も行っており、病気の不安、送り出し機関からの多額の借金、在留資格が期限切れになった後の心配等々で、相談件数は令和4年150件超、令和5年100件超である。今年の町長の町政執行方針で、「海外就労者の減少が想定されることから、担い手対策を町の最重要課題として捉える。」とあるが、予算措置が見当たらない。

鈴木 町長

今年度の予算当初、通訳のできる方を探していたが、採用に至らなかった。今後は成人式で着物を着てもらうとか、夏祭りに参加してもらうとかの検討も含め、早急に種々の相談に対応できる体制、長く活躍して頂ける体制を作っていきたい。

問

外国人等の住環境整備に関し、公営住宅を町営住宅に転換する考えは

鈴木精一議員

答

住宅の確保については、各団体との協議により取り進めたい

碓 一寿町長

鈴木 議員

本年度は総合戦略の練り直しの年。基本目標として、「近年の外国人労働者の増加傾向を踏まえ、雇用のための受入れ体制を検討し、更なる町の活性化を目指す。」とあるが、外国人就労の拡大、共生社会構築のための具体的な施策・事業と重要業績評価指数KPIを検討すべきと思うが。

碓 町 長

総合戦略は、あくまで人口減少をどのように解決していくか、そのためにどういう事業が必要であるかを計画したもの。この考え方には既に外国人労働者が含

鈴木 議員

現在、企業や事業主の努力により外国人を含めた就労者の住環境整備が見られる。一方、公営住宅で継続的に空きがあるという課題があり、日本人のみならず外国人の住環境整備を視野に入れ、町営住宅に転換するという施策も必要と思うが。

碓 町 長

公営住宅をどうするか

問

地域おこし協力隊制度を積極的に活用しては

大黒敦子議員

答

積極的ではないが、必要性があれば考える

碓 一寿町長



大黒 議員

地域おこし協力隊（以下協力隊）は令和5年度の北海道の実績で、162町村1千84名の隊員が活動している。定住、定着率が73%となっており、北海道では

いう話はあるが、町が所有する2階建やコンクリート住宅は耐用年数が70年であり、35年以上過ぎないと用途廃止が非常に難しい。手続きが面倒であり、補助金

の償還もある。やはり、雇用者が住宅を考えて、町が応援するという対応をしたいが、住宅の確保についても各団体と協議をしながら取り進めたい。

更に多くの隊員の任用を目標としている。

興部町としての協力隊に対する今までの募集状況を確認すると同時に、興部町の地域課題を踏まえたいうえで、町長の協力隊任用に関する考え方を聞ききたい。

碓 町 長

平成30年に要項を作り、観光事業や特産品のPR等の応援をしてくれる隊員と、ICTの支援員の募集を行ったが、マッチングは

大黒 議員

しなかった。現在は、公営塾の講師3名が地域おこし協力隊として活動している。定住と考えると、役場の職員、水産、農業関係の雇用を進めるのが第一。その後まちづくりの観点から必要であれば考えていきたい。

碓 町 長

議会報告会の中で、参加者より協力隊を何故活用しないのか、活用すべきといった質問や意見があった。現在活動中の協力隊が興部町にいてという認識が薄い。町民に浸透していないこと自体が施策として十分な効果が得られていないのではないかと。

協力隊を何故採用しないのかと言われても、逆に何を求めているのか。他力本願的なところがあるのではないかと。今の段階で、積極的に協力隊を入れる感覚は私にはない。ゼロカーボンの中で専門的な人が欲しい

という意見があるようなので、その部分で協力隊の制度を活用することは否定しない。

賃金について、町村間の過当競争になっているということも聞く。

大黒 議員

協力隊を活用する、しないという以前に行政と地域住民で本当に何が必要で、どう解決していくかを話したり考える必要があるのではないか。町民に浸透していかないのは、そこができていないのではないか。

碓 町長

今任用している協力隊については、高校の間口対策の議論の中で進めているものであり、理解を得ながら進めている。PRは足りないので、もし足りない。協力隊という制度は必要であれば活用していきたい。

大黒 議員

農山漁村の地域づくりで

は外部人材の活用、特に地域おこし協力隊は当たり前の存在。地域にとっても、行政にとっても、協力隊にとってもメリットがある事で、財政的な措置もされている。

活性化のためには、外部からの人材を活用すべきと考えるが、積極的に協力隊を活用しないのは何故なのか。

碓 町長

将来を考えた上での雇用と考えた時、協力隊制度だけで良いのか。また、他町村の例では地域とのコミュニケーションが取れていないと非常に問題が起きていると聞く。役場の職員がしつかりしなければならぬし、民間の方も働きながら地域づくりに参加することも重要である。

大黒 議員

協力隊は結果的に移住・定住に繋がらなくても失敗ではないと思う。人が人を

呼ぶ関係人口の増加、外の視点で地域を見る人たちがいて異なる人生経験やスキルや物の見方を持つ人が地域で一緒に住んで、仲間と

して地元の人たちと協働することが一番の価値なのではないか。積極的に外の風を興部町に取り込んでほしい。

問

若い世代の意見を集約できる場の
具体的方策・スケジュールは

大黒敦子議員

答

場は作っていききたいが、手法は
未確定

碓 一寿町長

大黒 議員

令和5年12月定例会において、人口減少にどのよう

に体たたく20代、30代の方に出てもらい、意見を聞く場を設けたい。

大黒 議員

若い世代とは、何かの団体に属している人や、産業の担い手だけでなく、何の肩書がない方であってもいろいろな属性を対象にしてほしい。

碓 町長

今年中にはゼロカーボンの会議に加盟している10団

また、意見を聞くことだけでなく、一緒に行動することが必要で興部の未来を生きる人たちが真剣に興部

の将来を考えていくスタートととらえてほしい。既存のゼロカーボンの集まりではなく、今までの行政と町民の関わり方でない、新しい関係性を作っていく必要があるのではないか。

将来を担う人材もそこから育っていく可能性もあり得る。そんな実りある会合にするためには、ファシリテーターの存在も欠かせないと思う。

碓 町長

手法がどうなるかはまだ確定していないが、場は作っていききたい。

令和6年度興部町一般会計補正予算(第2号)

補正額は、1億1千95万円を追加し、歳入歳出それぞれ56億1千287万円とし、原案どおり可決しました。

歳入の主なもの

○低所得者支援及び定額減税補足給付金事業
5千107万円増

〔給付金事業の実施に係る給付金等の経費の増額〕

○公私連携幼児連携型認定こども園施設整備事業
1千600万円増

〔認定こども園施設整備事業に係る敷地造成工事請負費の増額〕

○簡易水道事業会計負担金
1千320万円増

〔簡易水道事業会計への負担金の増額〕

○健康増進事業

972万円増

〔システム標準化に対応するための住民健康管理システム更新に係る委託料の増額〕

○職員人件費

668万円増

〔新規採用職員の増及び人事異動等に伴う人件費の増額〕

○介護保険事業特別会計繰出金
609万円増

〔介護保険事業特別会計への繰出金の増額〕

○交通安全対策推進事業

230万円増

〔交通安全指導車の購入に係る備品購入費等の増額〕

○税務総務費一般経費

200万円増

〔法人町民税の確定申告による還付金の増額〕

特別会計等補正予算

特別会計等3会計で補正予算が提案され、原案どおり可決しました。

①令和6年度興部町介護保険事業特別会計補正予算
(第1号)

補正額は、609万円を追加し、総額3億7千336万円としました。

・人事異動による職員の増に伴う人件費の増額

②令和6年度興部町簡易水道事業会計補正予算
(第1号)

668万円増

補正額は、収益的収入及び支出の簡易水道事業収益を430万円増額し、収入総額を2億9千416万円とし、簡易水道事業費用を895万円増額し、支出総額2億7千668万円としました。

・職員の人事異動に伴う人件費の増額

・興部浄水場の濁水対策として実施する宇津第二水源の整備に伴う工事請負費等の増額

③令和6年度興部町国民健康保険病院事業会計補正予算
(第1号)

補正額は、収益的支出の病院事業費用を153万円増額し、支出総額8億4千467万円としました。

・職員の人事異動に伴う人件費の増額

・興部町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

制定・改正された条例等

○興部町税条例の一部を改正する条例

○興部町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

○興部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

報告された案件

○令和5年度興部町一般会計予算継続費繰越計算書の報告

○令和5年度興部町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

意見書の採択

○ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

提出者 鈴木 精一議員
賛成者 竹内 清議員
賛成者 矢野 幸三議員
賛成者 阿部 昭一議員

・本道の森林を将来の世代

に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会を形成するため、活力ある森林づくりや道産木材の利用、防災・減災対策を進め、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を図ることが必要である。

地球温暖化や山地災害の防止など森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、適切な間伐や伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。

また、森林資源の循環利用を推進するため、優良種苗の安定供給、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材加工・流通体制の強化、建築物の木造・木質化、木質バイオマスの熱利用の促進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること等を求める意見書を提出する。

臨時会報告

令和6年 第2回町議会臨時会

5月7日(火)に開会され、議案6件が審議されました。

専決処分を承認した案件

○令和5年度興部町一般会計補正予算

(専決処分第2号)

補正額は、1千885万円を追加し、歳入歳出それぞれ62億39万1千円とし、原案どおり承認しました。補正内容は、歳入で寄附金及び道補助金の増額、歳出で職員の超過勤務手当の増額、基金積立金の増額等。

一般会計補正予算

○令和6年度興部町一般会計補正予算 (第1号)

補正額は、92万円を追加し、歳入歳出それぞれ55億192万円とし、原案どおり可決しました。

補正内容は、歳出でごみ収集車両の修繕費の増額。

改正された条例

○興部町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

その他議決された案件

○西2丁目道路改良舗装工事請負契約の締結

契約金額 5千550万円
契約の相手方

株式会社 藤共工業

○財産(寝台昇降式X線TV装置)の取得

契約金額 3千399万円
契約の相手方

三好メデイカル 株式会社

○財産(X線骨密度測定装置)の取得

契約金額 808万5千円
契約の相手方

三好メデイカル 株式会社

議員活動報告

議会全員協議会

議長 藤渡 昭博

5月30日、6月21日、協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行いました。

5月30日

○ナチュラル・ビズ・スタイル(年間を通した働きやすい服装)の実施について

○令和5年度ふるさと応援寄附事業について

○興部浄水場の濁水対策等に係る第二水源の整備について

○認定こども園施設整備事業の進捗状況について

○住民健康管理システムの更新事業について

○低所得者世帯(非課税世帯、均等割のみ課税世帯)への給付金、低所得者世帯への子育て支援給付金の支給事業について

○興部町高齢者生活支援施設について

設について

○興部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

○交通安全指導車共同購入事業について

○警察署の機能強化に向けた再編整備について

6月21日

○令和6年度議会報告会(意見交換会)の質疑・意見・回答の整理について

議会運営委員会

委員長 前田 義雄

5月7日、6月7日、6月21日、委員会を開催し次の事項について審議しました。

5月7日

○令和6年第2回議会臨時会の運営について

○令和6年第2回議会定例会の運営について

6月7日

○令和6年第2回議会定例会の運営について

○議会議員の請負状況の公

表に関する条例、施行規程の制定について

○議会報告会(意見交換会)質疑・意見・回答の整理について

6月21日

○ペーパーレス会議システムについて

議員なり手不足
検討特別委員会

委員長 竹内 清

5月7日、6月14日、委員会を開催し次の事項について審議しました。

5月7日

○なり手不足検討特別委員会の検討項目について
・議員報酬について

6月14日

○なり手不足検討特別委員会の検討項目について
・議会報告会・意見交換会について

「老人福祉センター運営管理事業」・「高齢者下宿運営管理事業」・
「認知症対応型通所介護サービス事業」 視察・調査

令和6年5月17日、老人福祉センター運営管理事業・高齢者下宿運営管理事業について福祉保健課より、認知症対応型通所介護サービス事業について介護支援課よりそれぞれ説明を受け老人福祉センターと高齢者下宿を視察してきました。

【老人福祉センター】

運営管理事業

○設置目的

興部町に居住する老人の健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与するとともに虚弱老人等に対しサービスを提供し、老人福祉の増進を図ることを目的に設置

○建設年度及び事業費

平成元年度に事業費総額約2億6千万円で建設

建物内には事務室、集会室、会議室、特殊浴室、普通浴室、食堂、厨房、機能回復訓練室、生活相談室がある。

○施設管理

高齢者事業団による施設管理、令和6年度管理委託料は約140万円

○利用状況

老人クラブ・歌謡クラブ・体ラボ・長寿大学等で令和5年度は、延べ1千591人が利用

【高齢者下宿運営管理事業】

○設置目的

興部町に居住する高齢者の福祉の増進を図ることを目的に設置

○建設（増築・改修）年度及び事業費

昭和51年に興部町ことぶき福祉寮として事業費総額約3千万円で建築、昭和59年に興部町老人福祉寮として事業費総額約2千500万円で増築、平成16年に興部町高齢者下宿として事業費総額約2千500万円で改修

○入居対象者（基準）

興部町に住所を有する概ね60歳以上の一人暮らしで高齢のため独立して生活することに不安のある者（その他町長が特別に必要と認める者）日常生活動作状況が次の項目に全て該当する場合

- ・一人で行歩行ができる。
- ・段差などの対応ができる。
- ・一人で食事ができる。
- ・排泄が自立している。
- ・着替えが一人でできる。
- ・厳密な食事制限がない。
- ・金銭管理ができる。
- ・その他施設での対応に困難がない。

○管理体制

日中管理人（賄人）1名、夜間管理人1名
令和元年より「NPO法



老人福祉センター



高齢者下宿

人わたぼうし」に業務委託、令和6年度業務委託料は約780万円

○利用（入居）状況

令和6年5月1日現在、入居者9名で入居者平均年齢は85歳

【認知症対応型通所介護サービス事業（ぬくまーる）】

○内容

平成25年より老人福祉センターの旧デイルームを活用し町営事業として地域密着型サービスの認知症対応型デイサービスを実施、要支援者・要介護者の認知症の方を対象としており人数で認知症の方の生活リズムに合わせた対応が特徴。多様な対応が出来るように

小規模でサービス提供を行っている。

○提供時間

9時～16時30分

（延長サービス18時まで）

○利用定員 9名/日

○定休日

日曜日・年末年始

（12月31日～1月5日）

○利用料

要支援1から要介護5までそれぞれ違うが入浴1回40円と食費（昼食・おやつ）400円を合わせて自己負担額は1千299円～1千867円

○利用登録者数

令和5年度で21名

（記：総務社会常任委員会
委員長 桑辺 博教）

「町有林の整備状況と今後の取組みについて」

「町有林環境保全整備事業実施要項における事業の状況と今後の実施計画について」

5月14日、産業建設常任委員会所管事務調査を行い、産業振興課、武田課長、小川課長補佐から説明を受けました。

1 町有林の整備状況と今後の取組みについて

町有林面積1千375・37haであり、人工林（1千34・88ha）・天然林（329・27ha）・人口保安林・天然保安林があります。

整備状況は、天然林については、機械での施業が不可能なことや事業費に対して収入が見込めないもので、事業実施はしていません。人工林では、11齢級（5年ごとに区切）・1～5年生が1齢級）から13齢級の主伐期（木材の為の収穫を目的とする時期）を迎えた林分が多いことから、間伐（間引きを目的）ではなく主伐を主体に整備を行い伐採木についてはカラ松・トド松・素材とそれぞれ販売流通しています。

また、主伐後の造林・保育（下刈）・野ねずみ駆除（空中散布）を行っています。特に、野ねずみ予察調査は、毎年6月、8月、10月の各月3日間実施しています。

今後の取組みとしてはJークレジット制度（日本

国内で削減又は吸収された温室効果ガスの量を、国が認証し削減量を売却したり、足りない削減量を外部から調達することができ（制度）に令和6年度にリーダー測量を実施することで森林資源解析が可能となることから、令和7年度以降取り組み予定。

2 町有林環境保全整備事業実施要項における事業の状況と今後の実施計画について

事業の状況としては間伐・保育間伐・除伐・作業道整備を補助金をもらいながら実施。また、森林資源の利活用に取り組み事業者に支援利子等補給事業として実施。

また、森林環境譲与税を活用し、担い手確保対策と

して、専門学校の学生への支援を行っています。今後の実施計画（森林整備）については、国や北海道からの補助事業（公共事業）では予算（財源）が限られる（造林事業及び保育事業で7割）ことから、公共事業では優先度の低い除伐及び保育間伐を中心に森林環境譲与税を活用し、民有林の森林整備事業を支援していきます。

また、森林作業道（1千500m）の整備を予定。

主役はあなたです！

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は9月です○

会期 9月19日(木)～27日(金) (予定)

一般質問 9月19日(木) (予定)

※会期及び一般質問の日程につきましては、議事の進行等により、変更となる場合がありますのでご了承願います。

※本会議を傍聴される方は、本会議当日、役場3階傍聴席入口に直接お越しください。傍聴人受付簿に住所、氏名をご記入いただければ、傍聴席に入ることができます。

※傍聴時には、手指の消毒にご協力をお願いいたします。マスクの着用は、個人の判断でお願いいたします。

問合せ先：議会事務局 Tel 82-2135



地球温暖化に対するCO2削減のためにも町森林環境保全を願いたい。
(記) 産業建設常任委員会
委員 阿部 昭二

議会報告会
特集号

令和6年度 議会報告会を開催

興部町議会報告会(意見交換会)



開かれた議会に

興部町議会

議長 藤渡 昭博

町民の皆様には、日頃より議会へのご理解、ご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

昨年の町議会選挙によって体制が新しくなつてから初めての議会報告会、意見交換会となりました。多くの町民の皆様の参加をいただき、また、多くのご意見、ご要望をいただきました。大変ありがとうございます。

今回の議会報告会は、今までとは少し趣を変えて、報告の時間を短くし意見交換の時間を十分にとるようにはしました。いただきましてご意見、ご要望につきましては、議会として真摯に受け止め、各委員会などで協議し対応してまいります。

興部町におきましても少子高齢化、人口減少に加えて生産年齢人口の減少とい

う大きな課題も見えてきました。多くの業種において担い手不足の状態にあります。議会においても2期連続で定員割れとなりました。この事態を重く受け止めて、昨年より議員なり手不足検討特別委員会を設置し、議員の担い手確保に向けて取り組みを進めています。

議会といたしましては、町民の皆様の声を広く聞きし町政に反映することが役割であると考えています。引続き町民の皆様信頼される議会、より開かれた議会を目指し、議員一同精進を重ねてまいりますので、今後ともより一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議会報告会

(意見交換会)を開催

興部町議会では、4月23日に2会場(昼の部・沙留会場(7名参加)・夜の部・興部会場(13名参加))において、議会報告会・意見交換会を開催しました。

議会の活動及び令和6年度予算の事業概要を報告し、意見交換において、大変貴重な意見・要望・提言をいただきました。その質問とお答えした内容等をお知らせいたします。



質疑応答・意見交換

議会運営委員会

《沙留会場》

【議会タブレットの導入】

問 デジタル化（タブレット導入）について役場で、専門的な知識のある方、指導できる方はいるのですか。

答 議会のタブレット導入については、議会運営委員会と役場の総務課と進めており、専門的な知識のある方は総務課に1名いる。内容としては議員だけがタブレットを持つのではなく、議会に出席する町長や課長等にも持つてもらい、議案書や資料をタブレットに入れて、それを見ながら議会を進める。大量の資料がペーパーレスになるというのが理想的な形で考えています。

《興部会場》

【認定子ども園について】

問 認定子ども園の実施計画が変更することにより生じた、設計費の増額ならびにまちづくりの整合性と財源について議論したのか。

答 決算委員会でこの事業がひと段落した時にきちんと検証するべきだという話になり、本会議の決算委員会の報告で、今後、この経過について議会として検証していく必要があるという意見が出されたことを報告しています。

総務社会常任委員会

《沙留会場》

【興部町高齢者等外出支援ハイヤー等利用助成事業】

問 ハイヤーの利用券は、昨年から75歳以上全員が対象になったと思

うが、今75歳以上全員に配布しているのですか。

答 令和5年度より現行の方法となり、満75歳以上の対象者については対象年齢に到達する年度に確認書を送付し、希望者に利用券を交付しています。

問 年齢到達時に希望しなかった方については、必要になった時に申請することで交付します。

令和5年度の登録者は511人で、約75%の利用率。

《興部会場》

問 高齢者を対象に補助金を出しているが、直接ハイヤー会社に補助を出した方が良いのではない

か。

答 補助金を出すのであれば、業者にお金が入る姿というのが一番理想だと思う。直接お金を出すよりも町民の方が利用して、それが会社の利益になる方が会社のためにも町民のためにもなると思います。

【緊急時の高齢者への支援について】

問 単身高齢者の緊急時の対応について

答 きらりの中に包括支援センターがあり、多くの情報を持っています。高齢者の支援をそこで出来るような体制を整えています。

産業建設常任委員会

《沙留会場》

【鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業（熊の注意看板について）】

問 熊の看板があるが、低くて見づらい。運転者や歩行者に目立つような高さ・大きさにしてほしい。

答 （産業振興課回答）熊の注意喚起看板は、令和6年度20枚購入してます。（A2サイズの複合版）現在は、垂木120cmで設置しておりますが、今後は周辺の草刈りをし垂木180cmで設置します。



新しく設置された看板

問 熊注意の看板を立てているが、春に出たのが翌年までそのままのところもあるので、せめて3つぐらいいいから、日付を入れたら、ここはしょっちゅう出ているから危ないんだと分かる。

答 （産業振興課回答）ご指摘のように分からないという意味がありませんので、スペースに没した月日を複数記入します。看板の設置期間は、2〜3週間です。

問 国道は開発が年一回しか草刈りしない。もう少し色々な関係機関と協力して草刈りをし、少しでも熊の姿が見えるようにしておけば、ハンターさんの苦勞も少し減るのかと思うので、議員の方からも関係機関や行政の方に働きかけてほしい。

答 議会として行政に対し、関係機関に要望するよう要請したい。

問 【役場庁舎の建替えについて】興部町の役場庁舎は50年以上経っている、バリアフリーも完全ではない、議会も3階でエレベーターもないような状況である。役場のある所は海



役場庁舎

抜の低い所で災害の対策面や耐震性も色々と考えなければならぬことも多いと思う。例えば開基150年に向けて新しく更新とか考えた方がいいのかなと思う。

答 (総務課回答)

役場庁舎は、昭和48年に建設しています。全体的に老朽化が進んでいるのが現状です。平成30年には耐震診断を行い、改修が必要であると診断されていますが、現在のところ改修の予定(計画)はありません。大規模改修又は建替えの必要性は重々感じておりますが、今後、認定こども園や介護施設の建設が控えておりますので、将来の財政状況等を見据えた中で、庁舎のあり方について方針を決定する必要があると考えます。

問 【旧国保病院について】旧国保病院は、解体せずにいつまで置

ておくのか。



旧国保病院

答 旧国保病院をなぜ取り壊さないのか一般質問をしたが、町長の答えは、医療系廃棄物扱いとなり、費用が2億数千円〜3億円ということ、任期中は解体せずにそのまま置いておくということです。

当面、認定こども園や介護施設の建設等、大きな予算措置が必要であり、その後の事業として注視していきたい。

問 【公営住宅の建替え・取り壊しについて】

答 泉町の公営住宅が老朽化して寒い。出るにしても入るところが無いが、町はどういう計画をしているのか聞きたい。

答 (建設課回答)

公営住宅の建て替えについては、【公営住宅等長寿命化計画】に基づき、建て替え等の年次計画を設定しています。しかしながら、現在の状況は、入居募集をしても申し込み件数が少なく、入居可能な空き住戸が複数ある状況が続いています。その中で新たに建て替えを実施しても、結果的に空き住戸が増えてしまう懸念があり、町の財政も勘案すると計画通りに進んでいないというのが実情です。

問 ①管内の町村では、新しい平屋の公営住宅が建っている。興部は泉町にしても緑ヶ丘にしても、古いまま、議員は他市町村の視察には行かないのか。計画はあるが、その計画に対して議員が動いて計画を町として進めようという方法は考えていないのか。

②沙留の交番の裏のところ、公営住宅だけ1列新しくなっているが、計画がある中で沙留の1列だけ出たのは不思議に思う。

③町としては、公営住宅ではなくて、町営にする話を聞いているが、どうなのか。

答 今後、産業建設常任委員会です。所管事務調査を予定する中でご指摘のあった事も含め実態把握及び検討をしていきたい。

③について建設課回答

公営住宅を町営住宅にする(所管替) ことについては、建物の耐用年数を超過した団地(長屋建の公営住宅)を対象に、建設課でも検討しているところですが、現状の公営住宅では入居中の住戸と空き住戸が混在している建物が多いため、どの団地をまたその中での建

を町営住宅にするのが良いのかを適切に判断するために、検討を進めていきます。

広報特別委員会

《沙留会場》

問 議会のことを詳しく載せることも大事であるが、町の事業について記事にすると目が行く、そのような広報の使い方は必要と思うので、開かせる中身を工夫してみては。

答 皆さんに読んでもらえるよう、大事なことはきちんと伝えるところを忘れずに進めていきたい。

《興部会場》

問 議会だよりを読んだら、議会の議論の内容がわかる。しかし、一般質問のその後の経過がわからないので、議会だよりに経過報告のようなものがあるれば、議会に興味を持ってくれると思う。

答 一般質問後の経過報告もしつかりと伝え

ていけるような議会だよりにしていきたい。

議員なり手不足 検討特別委員会

《沙留会場》

問 議員のなり手がいないことで町がどうなるか、若い人に伝わっていない。何を言っても変わらないから何も言わない、関係ないという意識になっているのではないか。

答 若い人達からも意見を聞き、町政に届けていきたい。

問 各世代の意見を聞き取ってもらえる場所がないか。

答 議員だけではなく、他町村で行っている「モニター制度」「議員の学校」など、打開策を考えや

つていきたいという方向性は委員会でも検討している。

問 ①意見交換会について、議会に対して意見要望がある方だけではなく、自分の意見が無くても聞きにきてくださいという

ことでも良いのではないかと感じました。

②議員だけではなく、町民の考えを聞くために他の関係組織、団体の方も入れて話し合いをしてはどうか。

答 町民の方と意見交換する場を議会として多く作れるようにして、色々な立場の人から意見を聞くことが出来るように考えていきたいと思っています。

意見 昔は地区に議員がおり、地区の集まりにも議員が来ていた。その中で意見を言ったり議論をしていたが、最近はそのような機会が無くなったので何か考えてほしい。

意見 議員だけではなく、他町村で行っている「モニター制度」「議員の学校」など、打開策を考えや

つていきたいという方向性は委員会でも検討している。

問 ①意見交換会について、議会に対して意見要望がある方だけではなく、自分の意見が無くても聞きにきてくださいという

答 町民と対話する機会を増やすとともに、議員の学校、議会モニター制度を今検討しており、今後、町民

の方にもお話を聞きたい。

意見交換

《沙留会場》

【地域おこし協力隊】

問 地域おこし協力隊は、興部にはあるのか、呼ばないのか、来てくれないのか、興部町としてどうなのか。

答 興部町の地域おこし協力隊は、2回程募集しているが、マッチングできなかった。現在は公営塾講師として3名の協力隊員が活動しています。

意見 一番の心配は、今の仕組みの社会福祉制度でも支える人がなくな

って、支えられる人が増えてきている。どんなものを作るうと、人がいなければどうしようもない。

自由意見 ・役場職員同士のコミュニケーションが希薄になって

いるのではないかと。役場職員の副業について、町を支えるために必要かと思う。町長は町職員で副業に行かない人が批判を浴びるのではないかと。だから容認出来ないかと回答しているが、町を前に進めるためには動ける力、働ける力があるのならそれを活用すべきだと思う。漁業だと近隣の町で役場職員も手伝いに行っていると聞いたが、他の町でやっていることは、興部町ではできないのかと

思った。出来ないと言われるので言たつてしょうがない、町民の意見が反映されないことが、いろんな場面で、なり手の不足に繋がるきっかけになると思う。漁組さん農家さん、色々な集まりで話も聞けたりするのかもしれない、全体的に繋がって一つの町の進化に繋がれば良いなと思っています。

・本来公務員はバイトなんて論外でそれ以外の仕事は禁止でしたが、今これだけ人手不足になったら、こん

なこと言っている場合ではないと思います。

公務員は色んな制約や法律があると思うが、この地域なりの生活に合った規則の緩め方を考えてもいいのではないかと思った。

本業を疎かにするというのは絶対にあってはいけないことだから、本人が納得して働いてもらうべきではないかと思う。

・役場職員が少なくても町内会の総会に出席して町内の意見を聞ける環境にしてほしい。

・住んでいる人が幸せに豊かに、そうすると人も出ていかなければ、ここに住んでいる人たちが豊かだなどと思ったらよそからも来る。呼ぼうとするのではなく、今いる人たちがいかに豊かになるか。その辺の道筋を見つめるのも議員の役目かもしれない。

【人口減少】

問 年々人口が減っているのか、就労人口を

《興部会場》

増やしたり移住者も増やしてほしい。

答 議会としても重要課題として考えていきます。

【福祉施設】

問 福祉に関して、今興部町では「きらり」

があるが、他に何年後にこういう事業をしようとか町として、何年後にやりますよとか計画はあるのですか。

答 ケアハウスと地域密着型特定施設入居者生活介護というのを合わせた施設を考えています。

しかし具体的な設計は始まっていません。

【自由意見】

・町長は頻繁に出張に行っているが、その成果を聞いているのか。

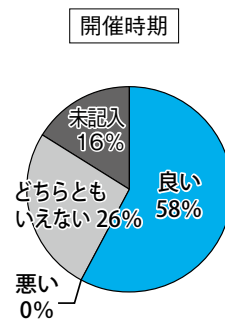
・町長の行政報告は、出張等による成果や主要施策の進捗状況を報告するものではないか。

・近隣市町村でも給食無料化が当たり前になっているので、もう一度考えてほしい。

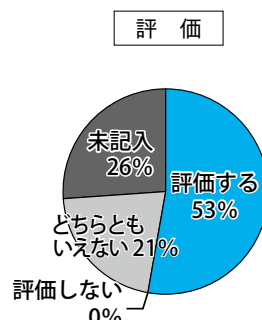
報告会アンケート結果

当日、アンケート調査を実施し、皆様より貴重なご意見をいただいております。ご協力ありがとうございました。（参加者20名中19名回答）

Q. 今回の報告会をどう感じましたか。



Q. 議会報告会の評価についてお尋ねします。



評価する理由

○活発な意見が出されていた。議員全員が発言していただきたい。

○良い報告会でした。まだまだ質問が有りますが時間の問題でも有ります。

○近い距離感を感じました。あとは内容の更なる充実、幅広い意見の集約とその発言の取り込みをお願いいたします。

○様々な意見が出され有意義でした。

○チラシの出し方、同じものを何回も出さず変化があったほしい。

どちらともいえない理由

○議員さんの答えが不明。

未記入

○出席者全員の発言を求めたいと思います。

○町議会議員の定員は町民の協力で達成してください。午後1時から行うのが良いと思います。夜7時は遅い。

○次回は産業又は高齢者対策について回答してほしいと感じました。

○町民との話をする場を作っていることに関して評価できます。席の配置が発表している方の顔が見えてよいですね。

議会の動き

令和6年5月15日以降

5月

- 17日・総務社会常任委員会
所管事務調査
- // ・興部町商工会通常総会
- 19日・第74回北海道植樹祭
- 20～22日・全国町村議会議長会
議長・副議長研修会
- 22日・西紋別地区総合開発
期成会網走要望
- // ・高規格道路旭川・紋
別自動車道早期建設
促進期成会網走要望
- 25日・オホーツク圏活性化
期成会定期総会
- // ・オホーツク圏活性化
期成会石北本線・釧
網本線合同部会
- 26日・興部消防団連合消防
演習
- 27～28日・遠紋地区市町村議会
議長会総会及び議
長・副議長・事務局
長合同研修会
- 30日・議会全員協議会
- // ・一般社団法人おこっぺ
町観光協会定期総会
- 31日・興部地区警察官友の
会総会

6月

- 2日・興部中学校運動会
- 7日・議会運営委員会
- 8日・興部小学校運動会
- 9日・沙留小学校運動会
- 11～12日・北海道町村議会議長
会定期総会・議長局
長研修会
- 13日・自衛隊協力会遠紋地
区連合会監査
- 14日・第2回町議会定例会
(1日目)
- // ・議会広報特別委員会
- // ・議員なり手不足検討
特別委員会
- 16日・北海道ベトナム交流
協会オホーツク総会
- 21日・議会全員協議会
- // ・議会運営委員会
- 23日・興部保育所運動会
- 26～27日・西紋別地区総合開発
期成会札幌要望
- 29～30日・第68回女性議員協
議会総会・研修会
- 30日・沙留保育所運動会

7月

- 1日・興部町暴力追放運動
推進協議会総会
- 2～3日・北海道町村議会議長
会議員研修会

- 4日・興部町戦没者追悼式
- 7日・はまなす幼稚園運動会
- 8日・オホーツク圏活性化
期成会総務文教厚生
専門委員会
- 9～12日・西紋別地区総合開発
期成会中央要望
- ・高規格道路旭川・紋
別自動車道早期建設
促進期成会中央要望
- 10日・議会事務局長及び事
務局職員合同研修会
- 11日・議会広報特別委員会
- // ・さるる海水浴場海上
安全祈願祭
- 16日・総務社会常任委員会
所管事務調査
- 18～19日・オホーツク町村議会
事務局長会研修会
- 20日・遠紋地区市町村議会
議員親睦事業
- 23～25日・オホーツク圏活性化
期成会中央要望
- 25日・議会広報特別委員会
- 26日・西紋地区教育文化振
興会総会

8月

- 8日・人口減少社会への取
組に関する講演会

興部町議会ホームページのご案内

興部町議会のホームページには、過去10年間の議会だよりを掲載しています。
議会だよりのほか、定例会や臨時会の日程、議会の傍聴方法などを掲載して
いますので、是非ご覧ください。

■ホームページアドレス

<https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/gikai/index.html>


今回の 表紙

興部陸上クラブ

十数秒にかける集中力

今回の主人公は、興部中学校3年生の岡崎^{のん}乃音さん。たった一人の活動ですが、指導する父親の拓也さんと7月末に函館で開かれる全道大会目指して練習する姿を取材しました。



100メートルの公式ベストタイムが13秒14の乃音さん。全道大会では準決勝に進むことが目標です。更に、12秒台を出すことも目指して練習を続けています。短距離走の楽しさを、「技術と筋力が合わさって、自分でコントロールできる繊細な競技」と表現します。一つのミスがタイムに影響するため、フォーム・ピッチ・スライド・足で押す感覚などを意識しながら練習を繰り返し積み上げていくと話してくれました。小学1年生の頃から、練

習を見ている拓也さんは、一人で競技を続ける覚悟を持ち、競技者として目標に向かって頑張っている乃音さんの成長を、10数秒にかける集中力がついたしプレッシャーに強い、なりたいたいものに向かってがんばれる力もついていると評価します。本人がやりやすいように環境を整え、できないことを手伝うイメージで接しているそうです。全道大会では、100メートルと200メートルの2種目に出場すること。100分の1秒の差を争う競技。技術と体力と精神力のバランスが求められるのだらうと取材を通して感じました。石ころのある土のグラウンドは決して練習環境としては良いものではないと思いますが、これからの競技生活の中で理想の走りを表現できることを応援しています。

(記：広報特別委員会
委員長 大黒 敦子)

編集後記

4月23日に開催しました興部町議会報告会(意見交換会)にお忙しい中、ご参加頂いた皆様、ご意見、ご要望、ご質問を頂き誠にありがとうございました。

今後も内容等を工夫しながら開催して行きたいと考えておりますので多くの方の参加をお待ちしております。

さて今年はおリンピックイヤーです。7月26日から8月11日までフランスのパリを中心に開催されました。

今回、新しく追加された競技が「ブレイキン」です。

「ブレイキン」とは1970年代のアメリカ・ニューヨークのサウスブロンクス地区が発祥のストリートダンスです。

ダンス系がオリンピック競技になると知った時

は正直、驚きましたが、時代の流れですね。今後は、もっともつと頭を柔らかくして色々な事柄に対応をして行かなければならないと痛感したところです。最後になりますが残り少ない夏、熱中症対策をして楽しい夏にしてください。

(記：広報特別委員会

副委員長 桑辺 博教)

広報委員長	大黒 敦子
副委員長	桑辺 博教
委員	竹内 清
委員	鈴木 精一
議会事務局長	須田 寿史
議会事務局主事	北崎 美緒

